

人間の性は、一般的に戸籍上の「男性」と「女性」しかないのですが、実は、たった二つのパターンに分けられるほど単純なものではありません。生態学的に男性または女性として生まれてきたが、このことに違和感を覚える、同性愛者であるなど、性には心の性、体の性、性的指向などが含まれるのです。その多様な性の態様の頭文字をとり、組み合わせで総称した言葉がLGBT（エルジービィティ）です。

L…レズビアン（女性の同性愛者）
 G…ゲイ（男性の同性愛者）
 B…バイセクシユアル（両性愛者）
 T…トランスジェンダー（身体と心の性が一致していない）

LGBTの人たちの割合は性的多数者から見ると少ないため、性的少数者（性的マイノリティ）といわれることもあります。

私たちは、ある一定方向でいわゆる男性として、女性として生きていくと考えてきたことが多かったと思います。しかし、さまざまな調査から

人口の5〜8%はLGBTであると推定されています。

学校教育の中でも、「性同一性障害」（身体の性と心の性が一致しないと診断された場合の診断名）で心が傷つく場合が問題となっています。

「お前は変だ」という嘲笑を浴びせられたり、いじめられたり、周囲の人から差別や偏見の目で見られたりすることもあるため、性の違和感などを打ち明けられない人もいます。このように、個人の尊厳に関わる大切な問題であるこの多様な性が、理解されず、自分らしく生きられないことが多々あるのです。

人権が保障された社会とは誰もが「自分らしく」生きられる社会です。価値観や感情などが一人ひとり違うように、性も本来は一人ひとり違います。性による生き方もさまざまなのです。

近年では、性の多様性を認める動きも出てきました。さらに尊厳や人権が侵されることなく、誰もが自分の性を尊重され、自分らしく生きることのできる社会でありたいものです。

川の事故をなくそう！ —尊い命を大切に—

市内でも過去に、淵や平瀬で溺れたり、中州に取り残されたりといった水難事故が発生しています。川で遊ぶ前には、危険な場所がないか必ずチェックしましょう。

天気が良く水量が少ないときでも、山の上で降った雨により突然の増水が起こることもあります。雨量情報などの確認方法は広報紙6月号5ページをご覧ください。

- 河原や水辺で遊ぶときは天候や川の流れに注意して楽しく安全に遊びましょう。
- 異変を感じたら、すぐに川から上がり、近づかないようにしましょう。

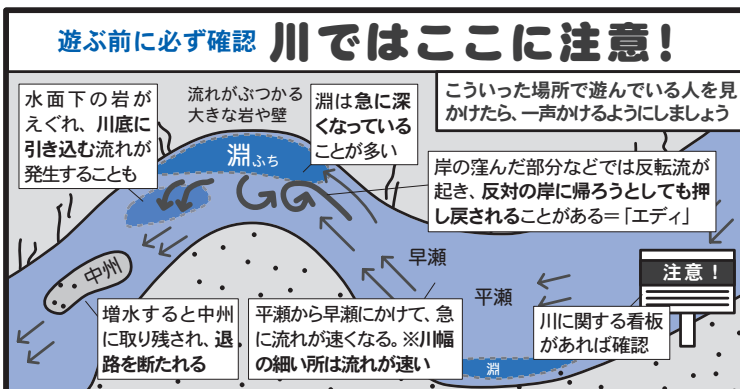
■水位観測システム

石鎚ふれあいの里上流の細野バス停留所付近（加茂川）に、水位観測システムを設置しています。河川の水量が警戒警報レベルに達するとスピーカーと赤色灯で注意喚起します。

■河川監視カメラ

市内7カ所に河川監視カメラを設置しています。スマートフォン向けアプリ「防災情報さいじょう」でリアルタイムの映像を見ることができます。平時から河川の状況をチェックしておきましょう！

防災情報さいじょう [検索](#)



海の事故ゼロキャンペーン —全国海難防止強調運動— 7月16日(日)～31日(月)

重点事項

- 小型船舶の海難防止
- 見張りの徹底、船舶間コミュニケーションの促進
- ライフジャケットの常時着用など自己救命策の確保

「海難ゼロへの願い」をスローガンに、海難防止思想の普及、高揚を図ることにより、海の事故を防止することを目的としています。

問合せ 今治海上保安部 TEL0898-32-2882